

図表は原則、1頁1点作成する。

表は、表番号とともに、表のタイトルをつける。
 なお、表のタイトルは、表の上に左寄せ

*P*は大文字、イタリック体。

表1 対象症例背景

調査項目	非併用群 (n=51)	併用群 (n=22)	<i>P</i>
年齢 (歳)	66 (42-89)	64.5 (47-79)	0.40 ^{a)}
性別 (男性 / 女性)	28/23	12/10	1.00 ^{b)}
Performance Status:PS (0/1/2/3)	10/26/10/4	2/10/8/2	0.41 ^{b)}
Durie-Salmon Stage (I/II/III)	6/13/25	1/4/16	0.29 ^{b)}
International Staging System (I/II/III)	16/19/9	7/11/3	0.74 ^{b)}
臨床分類 (IgG/IgA/IgD/BJ/Plasmacytoma)	27/13/1/5/1	16/5/0/1/0	0.69 ^{b)}
前治療の内容			
Conventional chemotherapy (+ Thalidomide)	8 (3)	6 (2)	
High-dose chemotherapy (+ Thalidomide)	7 (4)	5 (2)	
Dexamethasone (+ Thalidomide)	25 (3)	8 (2)	
Lenalidomide	2	0	
その他	10	1	
投与サイクル (3週 / 5週 / その他)	5 (1-24) (50/28/11)	7 (1-15) (22/13/9)	0.19 ^{a)}
総投与量 (mg/body)	33.6 (5.4-128.4)	63.6 (5.1-151.7)	0.13 ^{a)}
初回時投与量 (mg/body)	2.0 (1.3-2.5)	2.0 (1.5-2.6)	0.47 ^{a)}
減量後投与量 (mg/body)	1.8 (1.2-2.5)	1.7 (1.2-2.6)	0.58 ^{a)}
治療前白血球数 (/mm ³)	5300 (1400-12700)	4350 (1100-16500)	0.16 ^{a)}
治療前好中球数 (/mm ³)	3274 (570-10492)	3031 (957-12210)	0.88 ^{a)}
糖尿病既往あり	7	3	1.00 ^{c)}
Vinca alkaloid/Thalidomide 投与歴あり	21	12	0.43 ^{b)}
治療前末梢神経障害あり (all grades)	16	5	0.64 ^{b)}
AST (IU/L)	18 (11-59)	18 (10-72)	0.91 ^{a)}
ALT (IU/L)	14 (8-50)	19 (8-64)	0.10 ^{a)}
Ccr (mL/min)	69.8 (21.1-172)	78 (15-161.5)	0.17 ^{a)}
Alb (g/dL)	3.3 (1.7-4.9)	3.3 (2.5-4.8)	0.93 ^{a)}

表に注釈を入れる場合の記号は、原則 a), b), c) ...を使用。

表中は原則、網掛けしない。

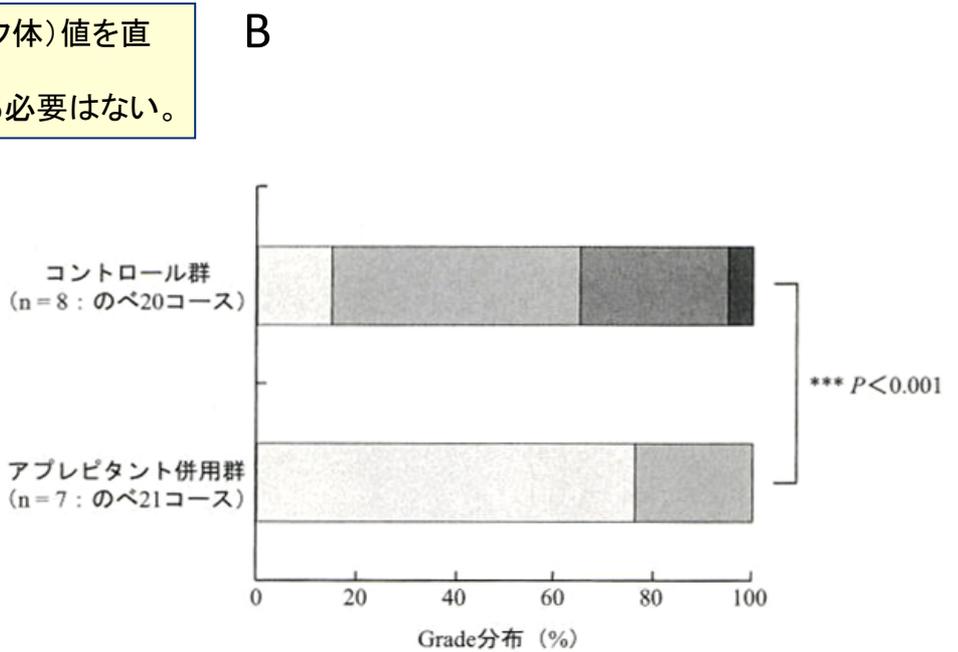
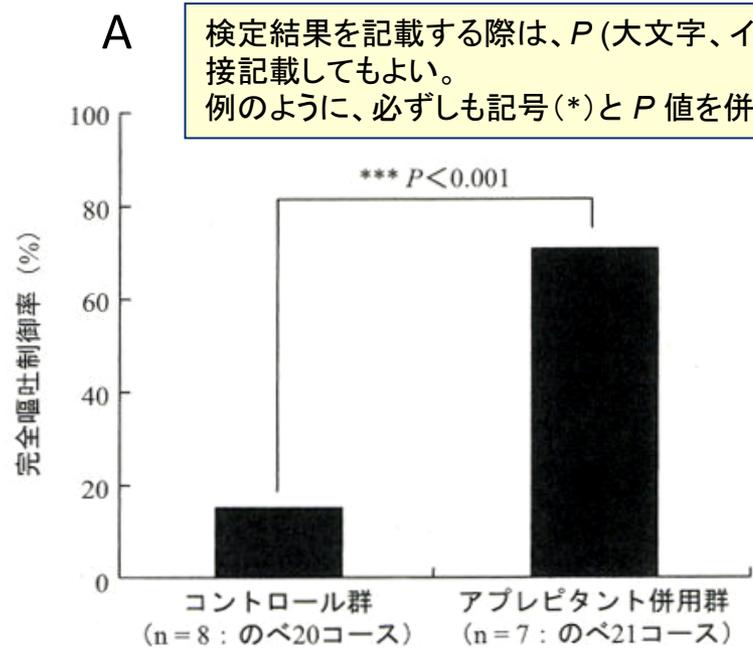
数値は中央値 (最小値 - 最大値) で表記

^{a)} Mann-Whitney *U*-検定, ^{b)} χ^2 検定, ^{c)} Fisher の直接確率計算法

表には、簡単な説明をつける(表の下に左寄せ)。
 例のように、複数の検定を行っている場合は、それぞれの検定法を記載することが望ましい。

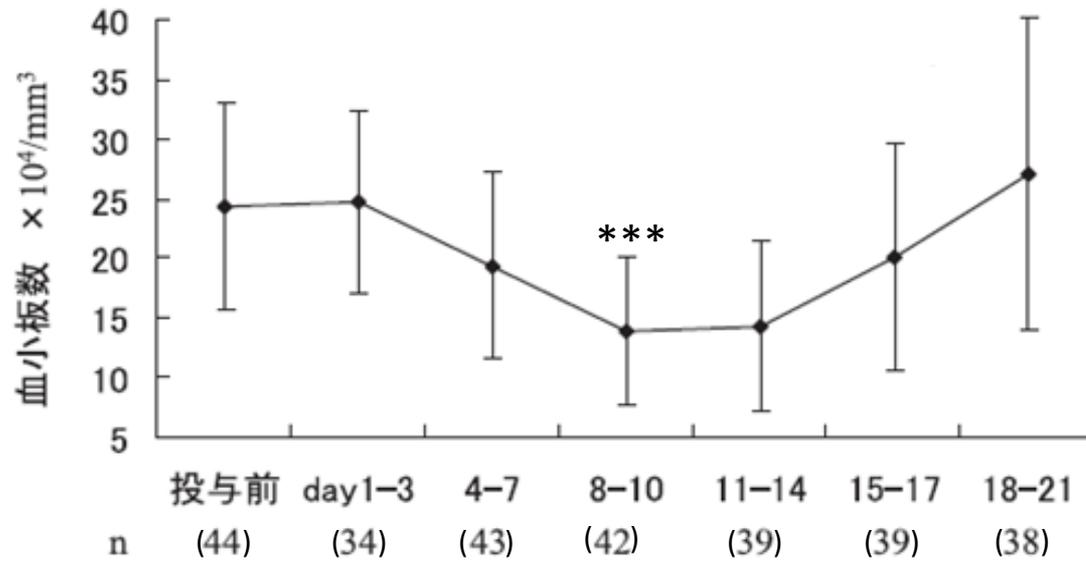
図の各パネルの名前は、A、B、C、・・・を原則とする。説明は引用文献の後の「Figure legends」に記載する。

図の番号は、右上隅に記載する。



グラフの軸タイトル、軸目盛の数値、図中の文字のフォントはゴシック体とする。

図中では、Pは記号(*)で代用できる。
 ただし、*は $P < 0.05$ 、**は $P < 0.01$ 、***は $P < 0.001$ を意味する。



例数 n は () 内に記載する